

ほけんだより 5月

2023.5.1
あおぞら保育園

新年度スタートから1か月。若葉が芽を吹き、日ごとに緑が濃くなっていくように、子どもたちも日々成長しています。最初は不安そうだった新入園児たちも、お友達と元気に遊べるようになってきました。進級した子どもたちは、お兄さん・お姉さんらしくなり、はりきって年下の子の面倒をみています。

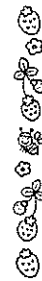
疲れや緊張から、発熱を繰り返したり体調を崩すお子さんも増えています。お休みの日は、ゆっくり休養をとるようにしましょう。



4月の感染症

溶連菌感染症 3名
感染症胃腸炎 8名

新年度、環境の変化で下痢・嘔吐や発熱などの症状が増え、疲れが見られています。小さなお子さんは、自分で体の不調が訴えられないので大人がよく観察しましょう。食欲がない・機嫌が悪いなどいつもと様子が違う場合は、お知らせください。



5月の保健行事

8日(月)～12日(金) 身体測定週
9日(火) 春の健康診断 14:30～全園児
16日(火) 手洗い指導 3歳児
17日(水) 手洗い指導 4歳児
18日(木) 手洗い指導 5歳児



歯科検診の結果について

4/20(木)に実施した歯科検診の結果を配布しました。「歯科受診について」と記載があった方は、かかりつけ医でも受診が可能です。受診後に、下半分を切り取り、8/31(木)までにご提出ください。

当日欠席された方は、5月中に井上歯科医院へ受診をお願い致します。

～井上先生から～

Geと記載されていた場合は、ジュースや甘いものを摂りすぎています。健康な歯を保つために、糖分や炭酸飲料は歯を溶かしてしまうので控えましょう。指しゃぶりをしている3歳児以降の開咬が増えています。指しゃぶりを続けていると、そしゃくが上手くできず、口呼吸になったり、発音がうまくできなくなりますので3歳を過ぎたらやめさせましょう。

全体的に虫歯のお子さんが少なく、歯の清掃状態も非常に良いと井上先生からお話がありました。

以下は、歯科受診結果の集計です。

	受診者数	虫歯あり (要受診者数)	その他(エナメル質初期う蝕・反対咬合など要受診者数)
0～1歳児	17名	0名	0名
2歳児	17名	0名	2名
3歳児	17名	1名	2名
4歳児	19名	2名	6名
5歳児	18名	1名	4名

SIDSから守りましょう

SIDS(乳幼児突然死症候群)は、それまで元気だった子どもが、寝ている間に、突然命を落とす病気です。原因ははっきりしていませんが、生後6か月までの子どもに多いと言われています。睡眠中はこまめに子どもの様子を確認し、子どもの命を守りましょう。



0歳児は5分、1～2歳児は10分ごとに確認!

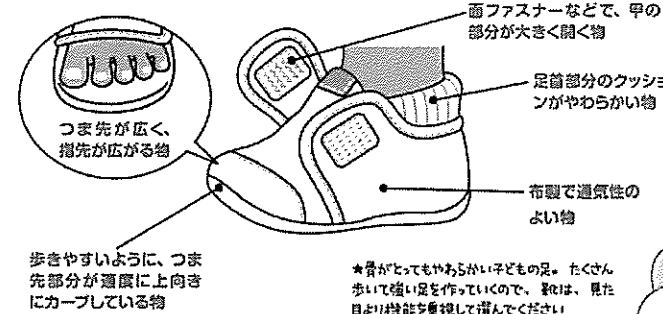
※1～2歳でも5分おきであるとベストです。

- おおむけで寝ていますか?
- 呼吸をしていますか? 口に手をかざしてみよう。
- 掛け布団やタオルが、顔にかかっていませんか?
- 顔色は悪くありませんか?
- 汗をかいていませんか?
- せきや鼻水など、普段と変わったところはありますか?

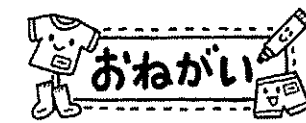
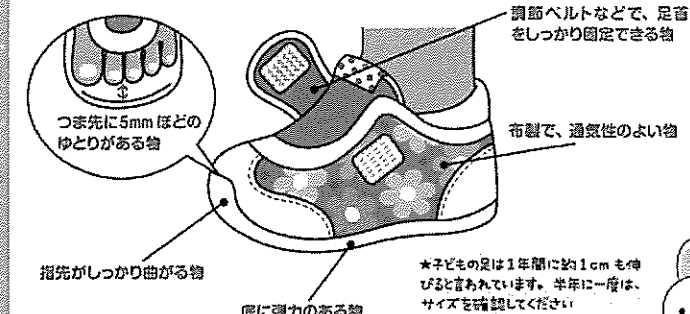
無呼吸に気づいたら、すぐに119番(救急車)と心臓蘇生を!



0・1・2歳児 お子さんの正しい靴選び

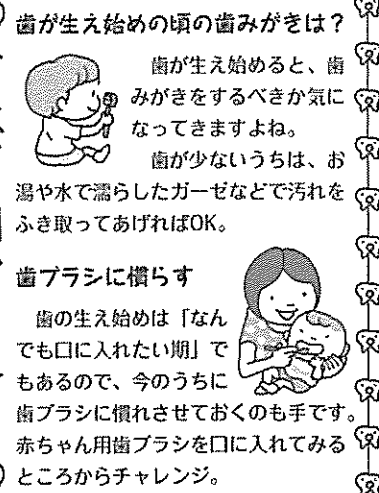


3・4・5歳児 お子さんの正しい靴選び



- ・ 保育園の洋服は、サイズが大きすぎると転倒や怪我に繋がります。お子さんの成長に合わせた丁度良いものを選びましょう。また、パーカーやワンピース、ズボンの裾や袖に飾りがあるものは、動きを妨げてしまうことがあります。年齢に関わらず「動きやすい」「着脱しやすい」「安全」な洋服を選びましょう。素材は、伸縮性、通気性、吸湿性に優れているもの。敏感肌のお子さんは、綿素材のものが良いですね。
- ・ 気温差がある5月です。衣服調節ができるよう半袖と長袖の両方の準備をお願いいたします。
- ・ 食品や動物アレルギーをお持ちのお子さんもしゃるるので、朝食は家で済ませてから登園してください。口周りが汚れていたら拭いてから登園しましょう。

歯みがき開始に向けて



【ことばの相談】

2歳ごろから爆発的に語彙数が増え、3歳以降は友達や身近な大人との会話を楽めるようになりますが、なかには、滑舌や吃音(どもり)などで困っているお子さんも増えています。特に力行やサ行の言いづらさは、子どもたちに見られる間違いです。成長に伴って治ることが多いですが、4歳を過ぎても発音の癖が残ってしまい、正しく発音ができないお子さんもいます。自然に治らない場合を機能性構音障害(発音の癖)と言い、構音訓練(言語聴覚士による発音の指導)が必要になります。練習の時期は、お子さんによって多少変わりますが、一般的には年長さんからが適齢です。

今月中旬に小児専門の言語聴覚士が子どもたちと遊びながら、普段の様子などから友達とのかかわり方で何か困っていることはないか、ことばや発達、咀嚼などを観察・アドバイスを受けることができます。

- 例) ・言葉の遅れが気になる。
・耳の聞こえが心配。
・「こ、こ、こ...これください」など言葉の言い始めまでに時間がかかる。
・力行やサ行が上手く言えない。
力行の例) 「こころ」⇒「ととろ」 「たいこ」⇒「たいと」
サ行の例) 「さくら」⇒「たくら」 「しんかんせん」⇒「ちんかんちえん」
・就学へ向けて、言葉の理解力がどの程度あるのか心配。
・友達とのコミュニケーションが苦手

医療機関へ足を運ぶのは少し悩むけど、保育園にことばの先生がいるなら聞いてみようかな...など。専門的なことを保護者へわかりやすく説明していただけますので保護者の方からも好評です。また、「英語を習わせたいけど、何歳ごろから始めたらよいか?」などの日頃の疑問にも気さくに答えさせていただきます。どんな些細なことでも、お子さんのことをご相談がありましたら、連絡ノートや口頭でも構いませんのでお気軽にお声かけください。